

「地区連絡会議の再編と課題解決のための第一歩」

京都府 南山城村農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| ○ 農業委員： | 14人 |
| ○ 農地利用最適化推進委員： | 5人 |
| ○ 事務局職員： | 2人 |
| ○ 市町村行政との連携状況： | 農政担当課が農業委員会事務局を兼務しており常に連携している。 |



2 地区の特徴、状況、課題

- 南山城村は人口は約2,600人の京都府唯一の村で、三重、奈良、滋賀に接した中山間地域です。
- 宇治茶の主産地として茶業が盛んで、原木椎茸やトマト、ブルーベリーも特産品として生産されています。
- 人口減少に起因する担い手不足が顕在化しているが、抜本的な解消策を確立できていないのが現状です。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 令和2年7月に新体制に移行し、これまで2地区で実施していた地区連絡会議を4地区に細分化し、地域ごとの考え方や意見をまとめやすくした。
- 各地区で話し合われた内容や意見、現状と将来像といったことについて農業委員会総会等で情報共有し、課題の抽出と解決策の検討に繋げていく。
- 地区連絡会議での話し合い内容を簡潔に記録できるメモ様式を新たに作成して各地区連絡会に提供し、議事録を整理、保存できるようにした。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

- 今年度の地区連絡会議はコロナ禍の影響もあり、4地区中3地区で行われるにとどまったが、地域ごとの話し合いの内容や意見、困りごとや地域が求めていることを把握することができた。
- 京力農場プランの実質化に向けたアンケート調査を実施し、地図作成や地区連絡会議で議題にする情報を収集することができた。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください